

**若き津波防災大使**  
**(日中植林・植樹国際連帯事業)**  
**参加者の感想 (抜粋)**

(※「世界津波の日」2019 高校生サミット in 北海道は、以下「サミット」と記載)

○アルゼンチン

スタディツアーでは、被災地の現状を知ることができてよかった。この体験をほかの人、学校、地域のコミュニティ、友人にも伝えることで、みんなにも知ってもらいたいと思う。植樹は、環境保護や環境によいことをする機会になった。国に帰ったら、私の経験を人々に伝える。また研究をしたり、防災に関する意識を高めるようなプログラムを作りたいと思う。

○オーストラリア

プログラムは素晴らしい体験だった。スタディツアーを通して、日本や日本文化の魅力的なところをたくさん見ることができた。今回私は、環境や防災について多くを学んだ。オーストラリアに帰ったら、この体験を多くの人に勧める。オーストラリアに持ち帰れるような知識を得られる、本当に素晴らしい体験だったと思うからだ。

○ブラジル

リアルタイムで実際の環境を見ることは興味深いと思う。外出した時、日本人は大変礼儀正しく、特にゴミを捨てる際に大変注意を払っていることに気づいた。これは誰でもできることであり、例えば洪水など自然災害の予防にも有効であろう。ブラジルでは、ごみ箱が10メートルおきに設置されているが、街路は汚い。しかし、ここ日本では、ごみ箱がほとんど見当たらないのに、すべて清潔である。

○カナダ

私は、自然災害について、また異なる国々がどのように防災に取り組んでいるかについて、より理解を深めることができた。自然災害のみならず、すべてにおいてよりよく準備することは、私自身の日々の生活や仕事において有益になるだろう。カナダでは、私たちは海の近くに住んでいるので、日本と似た環境にあるが、物事に対する対処方法はかなり違う。日本人はより準備を行い、周囲の状況や起こりうる問題に対して意識を持って備えをしている。

○チリ

私は日本という国は技術的に進んだ国という印象を持っていたが、実際には自然を大切に保護し、生活レベルの高さにおいて素晴らしい国だと思った。津波サミットで学んだ多くのことは自国でも役に立つと思う。なぜなら私の国は世界で最も地震の多い国だからだ。私はサミットで学んだ災害対策のすべてを我が国の人々に伝えたい。

○中国

日本と世界各国の災害状況の種類や防災・減災のための対策を理解し、知識を得ることができたのがよかった。ただ、各国の参加学生と交流する時間や機会をもっと設けるべきだと思う。

国によって国情や経済水準が違うため、実施できる対策も異なる。しかし、たとえそうであっても、将来起こり得るあらゆる災害に対し、我々は積極的に向き合っていかなければならない。私が参加したグループAの分科会のキーワードは「教育」だった。教育だけが私たちの意識を高め、知識を獲得し、緊急時に生き残る術を知るための唯一の方法だ。教育というのは科学や文学の知識だけではなく、災害防止や自分を守る術についても教えていくべきだと思う。

○クック諸島

視察では多くの有益な情報を得ることができ、これはこのプログラムの重要な要素だった。訪問した地域や場所で、日本の状況や歴史について多くのことを学ぶことができた。そして、これこそが私が学びたかったことだった。全体としてうまく実施されていたと思う。

## ○エルサルバドル

他の国々が如何にエルサルバドルと同じような問題に対処し苦勞しているかを知った。しかし、我が国の問題への対処は地域の対策に頼りすぎていて、政府レベルの対応になっていない。私は今回のサミット出席全体を通して得た経験、出た意見や被災者の体験談を基に自分の意識を変え、如何に行動し、如何に他の人々と連携するかを考えていきたい。

## ○フィジー

スタディツアーは、自然災害、環境、防災の理解をもっと深めるのに非常に役立った。ワークショップを行うなど、認識を高めるプログラムを創ることは、次の世代にとって非常に役立つのではないかと思う。知識を得る為には、まず行動を起こすことだ。

## ○フランス

日本は素晴らしい国である。ひとりの欧州人にとって自分の国と日本との文化、技術の相違点を見出すことは驚きだった。細かいことだがトイレ、箱バン型の車(軽自動車)、飲み水の供給などフランスと大きな違いがあるのを発見した。日本人が持つ「尊敬の念」はその良い例だ。

## ○ドイツ

今回の大会はこれだけ多くの国々からの参加があり目を見張る内容だった。数多くの異なる文化を知る機会を得られたことに感動した。サミットを通して異なる国々が同様の課題を抱えていることを知った。ドイツは他国のように自然災害を問題視するレベルにはないが、自然災害への取り組みに関する議論の中で考え方が一つになっていくことを経験した。今回のサミットに参加するまで世界中での取り組みを知らなかった。今回多くのことを教えてもらい知識も増えた。帰国したらクラスメイトや家族と一緒に自然災害への取り組み方を考えることを勧めたい。特に今回のサミットで、とても重要な情報を楽しみながら習得できたことは有意義だった。例えば、2000年に火山噴火が起きた現場や自然博物館を訪問して実態を知り、学習する機会が得られたことはとても興味深い体験であった。私は今回のサミットへの参加と日本訪問チームの一員になることができ誠に光栄である。

## ○インド

毎日の生活において、時間厳守や整理整頓が仕事に役立つと思った。自分の国と似ていることはインドでは、お客様は神様のように扱う。日本でもそうだと思った。自分の国と違うところは、日本に住むと何でも高い、インドは日本より気温が高い、日本はインドより技術が進んでいる、日本の食生活。

## ○インドネシア

今回はサミットの大使に任命されとても感激した。自国に帰った後、緊急避難についての知識、日本や他の国々が取り組んでいる災害時の緊急避難の手法を我が国にも広めたい。

## ○イタリア

今回、我々は地震や津波がどのようにこの美しい日本に災害をもたらすのか、そして地域の人々がいかにそれらの災害に焦点を当て、災害から人命を守ろうとしているかをこの目で見て学ぶことができた。自国でも同じ取り組みをしたいと思う。やり方としては、今回のようなオリエンテーション方式で指導する方法、又は小さな子供たちを巻き込んだやり方も考えられる。

## ○キリバス

防災プログラムが本当によいと思った。地震体験や地震のための防災訓練など、私たち生徒が今まで経験したことのないことを経験できるまたとない機会だったからだ。私の国には地震はないので、一味違う体験で怖いと思ったが、今回初めて体験してどうすればよいか分かった。

## ○マレーシア

私は津波被害を未然に防ぐ技術的イノベーションが意義あることだと感じた。たとえ私の国が津波への対応力が備わってなくても、私は知識を積み上げて行くことが大切だと思う。その上で私は情報を持ち帰り、如何に人々を教育すべきか、自然災害に対処すべきかを我が国の人達に伝えたい。

### ○モルジブ

スタディツアープログラムは、私の人生において、人生を変える経験だった。防災に対する私の思いは更に広がり、理解も深まった。防災において日本は最も進んでいると思う。そして日本人は、本当に礼儀正しく、愛あふれる人達だと思う。

### ○マーシャル

この旅を通して思ったのは、防ぐことについてたくさん学ぶ、知ったので、今度は自分の国に帰って他の人にそれを教えるということだ。今回の旅を通して、常に私達は準備をし、意識しておかないと行けないということを身にしみて感じた。世界中の人が一緒になって、お互いの知識を共有することが非常に役立ったと思う。皆が集まって共に何かを生み出すことにより、私達人間の価値は最新技術よりもっと価値の高いものを生み出せる。お金儲けをするよりも、防災についてもっと考えるべきだ。自分の国に帰ったら、他の生徒に私が学び知識となったことを共有したいと思う。そうすれば彼らも、実際に自然災害が起きてしまった時の対策を広められるし、準備ができると思う。

### ○メキシコ

まず感謝を申し上げたい。視察は本当に素晴らしく、自国に持ち帰る知識を多く得ることができた。日本人は最高の人々で規律正しく、親切で明るく思う。日本人の印象を伝え、メキシコの人々が持っている印象を変えていきたい。私は多くの新しい文化を知ることができ、その経験はすばらしかった。最初からお世話になったグループFのガイドの方々にも大変感謝している。

### ○ミクロネシア

こちらで学んだ本当に多くの有益なことを、帰国後、私のコミュニティの人々に伝えることを楽しみにしている。このサミットに参加して、防災について、また自然災害から命を守る素晴らしい方法をたくさん学ぶことができた。このプログラムは、私自身、私の人生、そして私の選ぶ道に対して非常にすばらしいクリエイティブな方法で影響を与えてくれた。本当に多くのことを学んだ。最後に、日本大使館が私を含めた大使たちにこのような素晴らしい機会を与えて下さったことに対して感謝を申し上げたい。私たち全員が感謝している。すべての関係者の皆様、私たちと時間を共にしてくださって有難う。

### ○モンゴル

私達は情報雑誌の編集など新しい取り組みができると思う。雑誌編集はより正しい情報を掲載し、読者にとって面白く、幅広い世代に親しまれる内容にする。そのために我々ができるボランティア活動、即ち環境のクリーンさを守りつつよりフレッシュにする様々な取り組みに参画したい。

### ○ナウル

サミットへの参加を通して、みんなの視点を取り入れるために、みんなが関わるべきだと思った。それが真にすべての社会をよりよくしていくことにつながると思う。

### ○オランダ

海面上昇と自然災害をもっと意識する必要がある、と人々に伝えたい。このプログラムは、私達皆にとって驚くべき経験ができるものだったと思う。オランダではまず無いだろうと思えるようなものだった。そもそもオランダには避難計画というものはない。政府が全部用意してくれているだろう、という感覚をみんなもっている。しかし実際には政府にもそのような計画はなく、国民はそれを知らない。

### ○ニュージーランド

視察はとてもよいアイデアだと思う。私は、友達と交流しながら、重要な情報をたくさん得ることができた。ニュージーランドでも自然災害がよく起こる。しかし、長時間にわたって被害をもたらす大きな津波を経験したことは今までない。だから、大津波がどのくらいの危険をもたらすものかを見て、私たちは災害に対して常に備えなければならないということを知るのには大変すばらしいことだった。日本における自然災害に対処する方法をたくさん知ることができたし、自国に多くのアドバイスを持ち帰ることができる。国はそれぞれ違っていても、一つの目的のために皆が集まった。私はこのすばらしい経験に参加することができて大変幸せである。

## ○ニウエ

日本と被災地のことを知るこのような機会を得ることができ、大変感謝している。私は帰国後、日本が災害に対してどのくらい備えをしているか、そして日本がどれほど素晴らしい国であるかについて友達や家族に伝えたいと思う。色々なことを経験し、様々な場所を訪問することができて、このプログラムは大変楽しかった。

## ○パラオ

パラオにとって植樹は重要だ。食べ物のために木を育てるのは私の国でも同様だ。植樹は私たちの文化の一部なので、簡単に手放すことはできない。

## ○パプアニューギニア

スタディツアーが楽しかった。学校訪問して、興味を持たせることをしてくれたり、意見を共有したり。日本の高校生と英語で話すことは少し大変だったが、楽しかった。私の学校と仙台育英学園との関係にも感謝している。彼らのおかげで、日本語を少し知っているの、日本の高校生と交流するときに役立った。この経験は私の国とは違う。私の国は発展途上国なので、日本のようなインフラや技術がない。自分の国に帰ったら、みんなに、学校に、このサミットで見たこと、学んだこと全て話したいと思う。

## ○パラグアイ

この経験は絶対忘れることができない。自然災害についてたくさんのことを学んだ。それに加え、たくさんの人との出逢いもあり、お互いの文化交流ができた。特に日本との文化交流だ。このプログラムを通して学んだことを広めていきたい、そうすることで人を動かし、変化をもたらすのだ。世界を変え、より良いものにしたい。他の国の人達と同じ時間を共にするのは本当に素晴らしいことだ。お互い教え合うことができる。前よりも日本がもっと好きになった。そしてできるだけ早く日本に戻ってきたい。

## ○ペルー

全てがよく準備されていた。私はこのプログラムの課題に関して自国がより改善されることを望みたい。プログラムはすべて教育的で、視察した場所は大変よく維持されていて、感心した。

## ○大韓民国

韓国は他の国と比較してそれほど自然災害は多くはない。従って私はこれまで災害への準備対応を考えたことがなかった。今回のプログラムに参加し、具体的に災害について学ぶことができた。そして韓国と日本とで色々な異なることがあることを知った。韓国に戻ったら、クラスメイトに災害への備えを進めることの重要性を説き、具体的に災害への対応準備を進めて行きたい。

## ○ロシア連邦

仲間や大人に自然災害について話したいと思う。津波や地震が起きた時に何をすれば良いのか知ることとはどれだけ大切なことなのか、非常に良く理解している。地震体験シミュレーターが非常に良かった。私の国にもこういうものが欲しい。また、定期的にシェイクアウト・ドリルがあるのもすごく良い。私の国でも頻繁にこういうことをやって欲しい。ワークショップが楽しかった。それぞれが恥ずかしがらず、プレッシャーを感じずに自分の意見をしっかり言っていたからだ。

## ○サモア

このプログラムは、まさに私が知るべきことを教えてくれた。他の学生たちと共に、色々な考えを学び共有するために、ここ日本に来た。私たちはみんなで知識を寄せ合い、素晴らしい計画をつくることができた。私たちは明日をつくる将来のリーダーたちであると信じている。私は、帰国後、自然災害に対してどのように対処するのかについて得た知識を自国に広める時を待ち望んでいる。そして二度と同じあやまちを起こさないようにしたい。

### ○シンガポール

シンガポールでは自然災害があまりないので、災害について忘れがちである。ほかの国はシンガポールほど幸運ではない。避難訓練やシミュレーションを経験して、未曾有の災害の危険をかつてないほど差し迫って感じ、防災の重要性を本当に理解することができたように思う。とくに地球温暖化が加速するにつれ、次に何が起こるか予想するのが難しくなっている。次世代を担う私たちがみな、よりよい未来を守る理由やその方法を理解する上で、このサミット開催は非常に重要な鍵となる機会になったと思う。

### ○ソロモン

私は若き津波防災大使として日本に来ることができてとてもうれしい。避難訓練、シェイクアウト訓練、湖、津波、火山、地震など、環境や防災について多くを学んだ。これらのことを知っているのは有益だと思う。自国と違うのは、自国には災害ハザードマップがないという点で、共通点は、学校で一か月に一回防災訓練を実施しているという点だ。私は自国の人々に日本のこと、スタディツアーで訪れた地域のこと、植樹交流プログラムのこと、そして環境や防災について伝えたいと思う。

### ○南アフリカ

南アフリカは日本と比べて災害は多くないので、このように徹底的な安全対策は必要がない。けれども南アフリカの人にも自然災害の危険について知る必要があると思う。南アフリカは今まで大きな自然災害の影響を受けたことがないので、人々はその重要性について理解していないし、ほとんど考えたこともないと思うからだ。スタディツアーは、なぜ自然災害が危険で、そのようなときにどうやって身を守るかについて、外の人の視点を聞いてよく理解する素晴らしい方法だったと思う。

### ○スリランカ

このプログラムは私たち高校生にとってとても重要なプログラムだったと思う。色々な国の人と出会い、友だちになった。私たちの知識にも影響を与えたと思う。もし今災害が起きたなら、人命や公共の資産、個人の資産を守ることができると思う。このサミットは私にとって非常に重要な体験だった。

### ○タイ

このプログラムが大好きで、また参加できたらいいなと思う。このプログラムをもっとよいものにしてほしい。すでに大変すばらしく、感動を与えているが、もっと良いものになると思う。帰国後は、日本の人々がどれくらい災害について知識を持ち自分たちの安全を守っているかを伝え、こちらで学んだことを有効に活用するよう心がけたい。私は、こちらに来るまで、災害の重要性についてこれほど気づくことはなかった。

### ○トンガ

スタディツアーの防災センター訪問がとても楽しかった。自然災害にどのように対応すれば良いのかたくさんを学んだ。トンガと日本の似ているところは、津波、地震、台風などの自然災害を経験していることだ。日本に滞在中、日本人が何をやるにおいても自分達でやれることを学んだ。

### ○トルコ

スタディツアーは、とても学びが多かった。スタディツアーのおかげで環境や防災について、新しく重要な情報を得ることができたので、自国のみんなにも伝えたいと思う。日本はトルコとの共通点がたくさんある。けれど一番大切なのは、人々の行動様式だと思う。私たちは共に誠実で、親切で、人をよく助け、お客さまを喜ばせるためなら何でもする。違うのは食べ物くらいだ。いくつかの食事は自分にとってまったく新しいものだったが、新しい文化に出会えたのは本当に喜びだった。

### ○ツバル

このサミットで一番重要だったテーマは、異なる国から参加する学生達がサミットのテーマに対して異なる考えを持って参加していることである。自然災害も人間が作り出している側面もある。従って我々が何をすべきか、又は環境を守る為にどうすべきか、を考えることが重要である。

## ○米国

この旅は、私にとって、津波のような自然災害が人々やコミュニティそして環境に対してもどのような影響を与えるかについて新しい見方を与えてくれ、理解を深める機会となった。視察やインタラクティブな活動から学ぶことも多く、実際に被害を目にし、被災地に立つことができたことはすばらしい経験であった。私は、学んだことを必ず自らの日々の生活に活かしていきたい。日本は世界に与えることのできる見識と知識を多く持つ国であり、このプログラムはそのことを共有し、若いリーダーたちに知識を伝える特別な機会であると感じる。

## ○バヌアツ

視察や交流ではいろいろ学ぶことが多く、大変すばらしく、私は本当にとても楽しむことができた。人々が、津波や地震、そして火山災害からどのような被害を受け、その後どのようにすべてを復興し、次に進んでいったかを学んだ。また、異なる文化を知り、おいしい食べ物を味わい、そして新しい友達に会った。だから、自然災害についてより知識を深め、理解し、備えるために、私たちはもっと問題意識を高め、子供たちを教育しなければならないと言いたい。行政からの援助を求め、お互いに協力し合おう。そうすれば、そのメッセージを次の世代に引き継ぐことができると思う。

## ○ベトナム

このプログラムの中で、東京や北海道の美しい景色をたくさん見ることができた。新しくできた外国の友達と交流し、地震や津波についてもたくさんの情報収集ができた。日本の高校生は本当に可愛くて、熱心だった。サミットでは、プレゼンの前にたくさん学び、新しいたくさんの友達と議論を交わし、たくさんの国の人と交流した。この旅で得た全ての知識は、将来の仕事や自分の国にとっても役立つと思う。

日本人がどれだけフレンドリーなのか、電子機器の近代性、ホテルの気遣いあふれるサービス、街の中がどれだけ綺麗なのか、私がこの旅を通して得たこと等を皆に話したいと思っている。